

近江の石工

令和3年2月発行
発行
滋賀県石材組合連合会
広報委員会

会長挨拶

滋賀県石材組合連合会会長

野崎 広之



明けましておめでとうございます。旧年中は会員の皆様には当連合会に対し格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスの感染防止対策により、当組合の事業もことごとく中止を余儀なくされました。非常に残念ではありますが、しかたないことなのかと自分で納得しているところです。

また、青年部の40周年の事業においても中止という判断は大変辛いことであったと思います。部員一人ひとりがまた盛り上がり燃え尽きるような周年事業が行えるよう期待しております。

そんな中、無縁塚整備事業が福利厚生委員会を中心に屋外での事業であること、密にならないということで実施されました。お墓に日々お世話になっているという思いから、無縁塚を清掃し法要をさせていただくことで、非常に清々しい気持ちになれたのは、大変良かったと考えております。

また、当初の予定にはありませんでしたが会員の皆様の経営にコロナがどの程度影響があったかをアンケート調査させていただきました。経営への影響やコロナ対策は様々でありましたが貴重な情報を得ることができました。今年度事業を実施するにあたっての指標の一つとさせていただきます。お忙しい中、ご協力いただいた会員の皆様ありがとうございました。

いつまで続くかわからないコロナ禍ではありますが、ウィズコロナ、アフターコロナに向けて私たちが大切にしてきた供養の文化を如何に守つてゆくのか、そこに「石」という魅力ある素材をどのように生かしていくのかを考え行動していかなければならないと思います。

会員一丸となり知恵をしばり、また明るい未来がくることを信じ、素晴らしい年になることを祈念いたしまして念頭のご挨拶とさせていただきます。

無縁塚清掃及び無縁仏石法要

福利厚生委員長 中江 健造

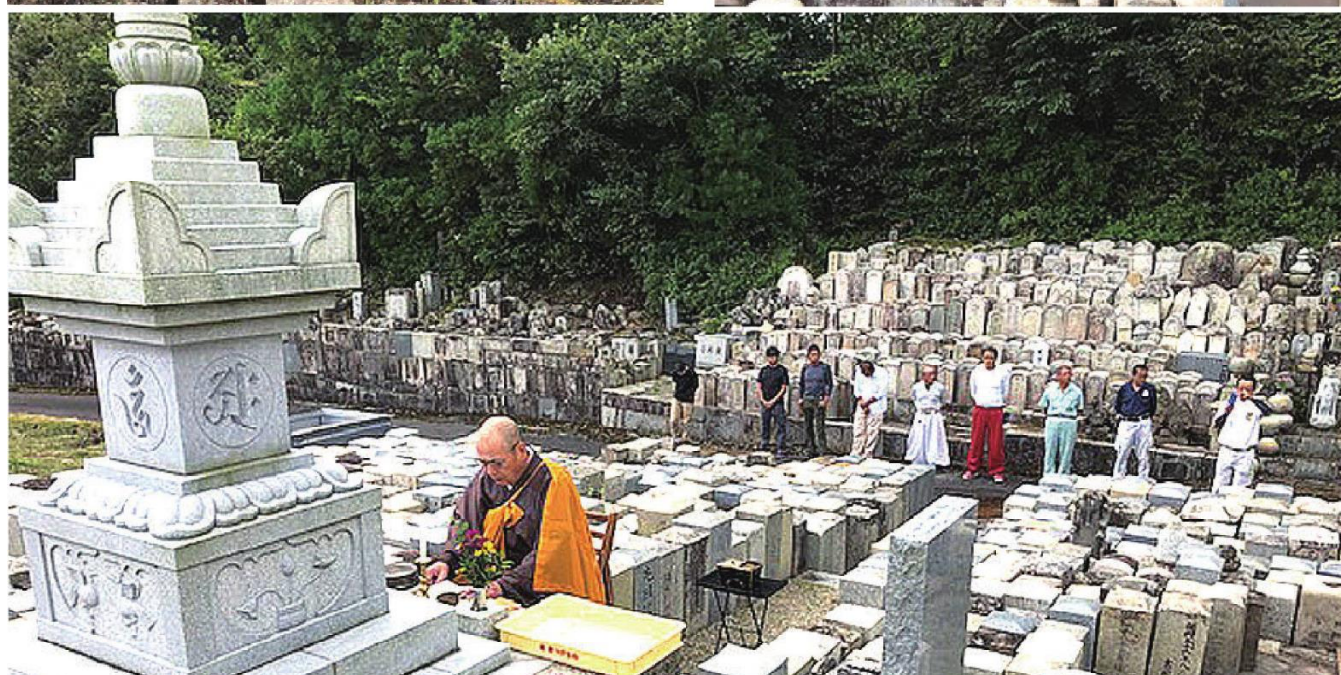
令和2年9月29日火曜日、今年も無縁塚清掃及び無縁仏石法要を（有）平出石材工業様丁場跡において行いました。

毎年の事ながら雑草が辺りを生い茂り、大変な作業となりましたが、参加者の皆様の手際の良さで、短時間で済ませることができました。おかげさまで、埋もれていた仏石が整然とした姿を取り戻すことができました。

続いて清掃終了後、宝篋印塔前において、無縁仏法要が執り行われました。参加者

一人一人が手を合わせて、無縁塚法要が滞りなく執り行うことができました。

最後になりますが、「墓じまい」の多い今日この頃ですがこんな時こそ、この事業の継続が大事となってくるのではないのでしょうか。今年はコロナに振り回された一年となりました。そんな中、当事業にご協力いただきました皆様にお礼申し上げますとともに、今後とも事業継続の為、各員各位の皆様の御協力よろしくお願いいたします。



令和2年度 青年部活動報告

青年部部长 中村 友規彦

令和2年度を振り返り、青年部の活動報告をさせていただきます。今年度は11月の青年部40周年成功に向けて年明けから部員一丸となりスタートしました。そこへ誰もが予想しなかった新型コロナウイルスが世界中に蔓延し、青年部40周年も延期せざるを得ない状況となりました。3年程前から実行委員会を立ち上げ、少しずつですが前に進んできました。コロナが終息し、普段の生活に戻るのがいつになるかは誰にも分かりませんが、その日に向かって準備し40周年の開催と成功に向けて部員全員で頑張っています。

例年3回行っています無縁塚整備作業をコロナの影響もあり2回させていただきました。コロナ渦にもかかわらず、沢山の部員が参加していただき、安全面に細心の注意を払いながら、受け入れていただいた

すべての佛石を並べさせていただきました。久しぶりに出会った部員と話が弾み少しの時間でしたが楽しい空気が流れてました。来年以降も親会と連絡を取りながら、少しでも協力できるよう無縁塚整備作業は継続して行っていきたいと思います。

現在青年部部員は13名です。このような状況ではございますが、部員拡大も積極的に進め、なんとか40周年、その先の50周年に向けて偉大な諸先輩方が築いてこられた歴史と伝統に恥じぬよう、これからも滋賀県の石材業界のため、滋賀県石材組合青年部としてより一層活発な活動をしていけるように頑張りますので、今後ご指導、ご鞭撻いただけますようお願いいたします。

最後になりましたが、皆様に御礼を申し上げ、青年部の活動報告とさせていただきます。ありがとうございました。



会員アンケート

新型コロナウイルス感染症拡大により、経営への影響を受けている事業所も多いことから、その実態を把握することにより、会員をサポートする事業の必要性やその内容を協議する指標とさせていただくことを目的に、実施しました。

アンケート結果について

1. 返答数は会員42社中33社で、返答率は79%でした。
2. 新型コロナが経営に影響が生じていると回答した会員は16で回答数の48%で、現在はないが懸念があると回答した会員は14で42%、合わせると約90%となる。
3. 具体的な影響は、「売上の減少」と「来客数の減少」の回答が共に60%を超えている。
4. 対策は、公的支援制度を活用した会員は約60%であった。また、数は少ないが異業種参入や支出の削減などの対策をしている会員があった。
5. 感染症対策は「マスクの着用」が最も多く「除菌スプレー」「三密の回避」の順であり、多くの会員が可能な対策を実施している。
6. いずれかの四半期で売上が減少していると回答した会員は26社で約80%。「4~6月」が最も多く、「1~3月」「7~9月」の順で緊急事態宣言の影響が大きかったと思われる。10~12月には売上が増加している会員が9社ありいくらか改善している様子もうかがえる。また四半期すべて減少した会員は7社あった。

まとめ

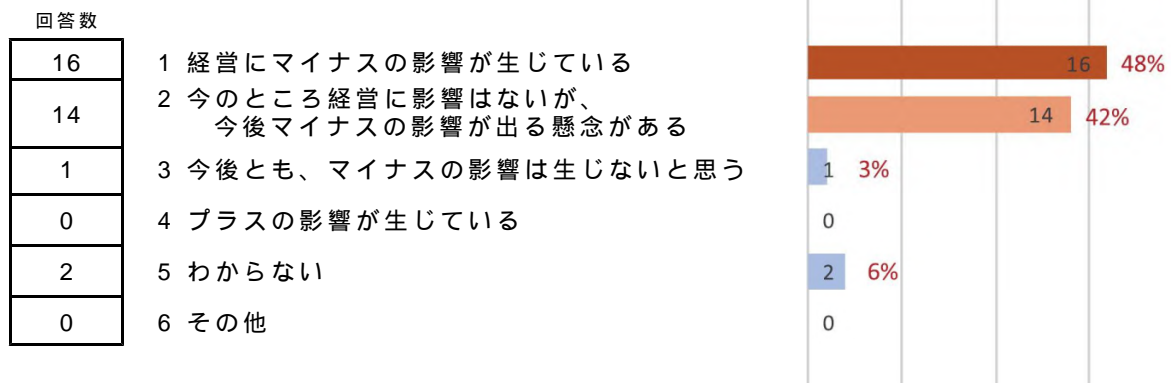
経営に影響が生じている会員は半数近くあり、1年通して売上が減少している会員も少なからずあるが、後半改善している会員も多くあることから全体としては、コロナが会員の経営に大きくマイナスの影響を与えたとは言いえないのではないかとと思われる。

また、「マスク」や「除菌スプレー」などの感染防止対策を実施している会員は多いが、対策をしていない会員も少なからずあった。会員の皆様におかれましては、お客様の信頼を得るためにも、自分自身が感染しないためにもできる限りの感染対策の実施をお願いいたします。

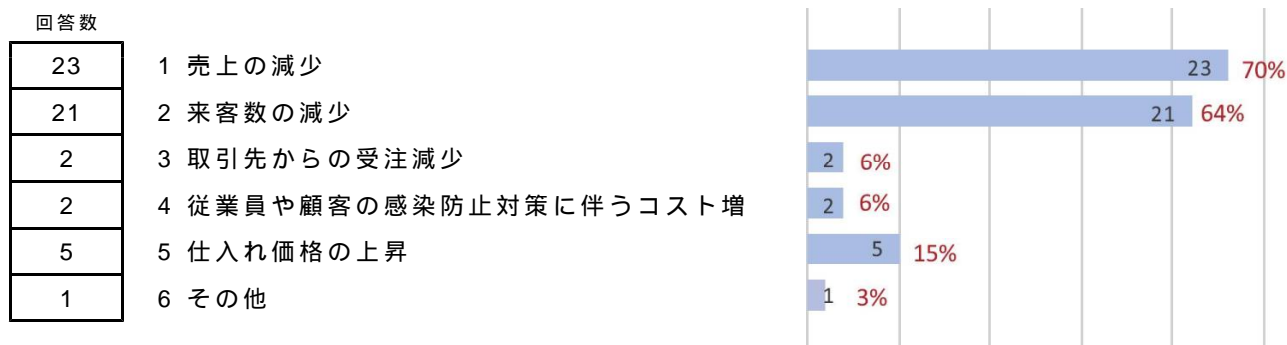
会員アンケート集計表

返答数 33 (会員数42) 返答率 79%

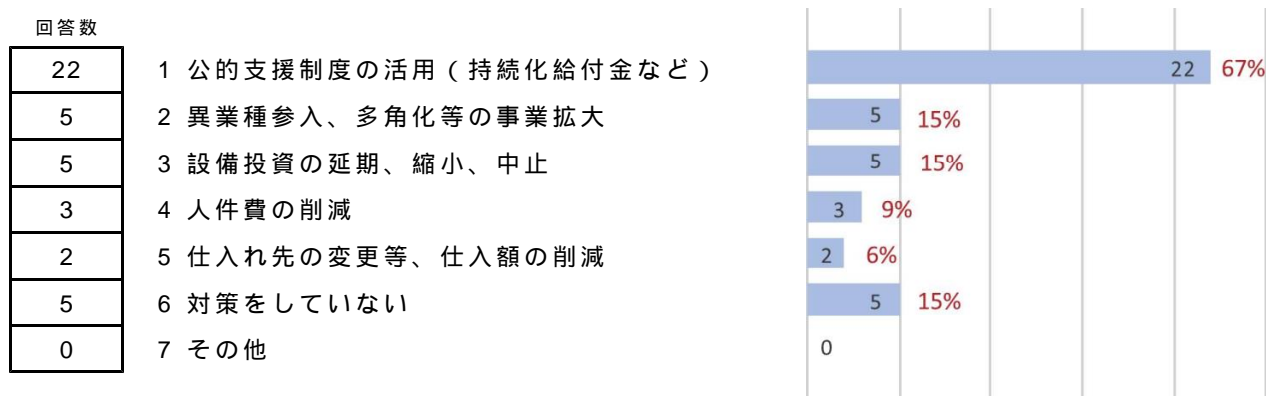
1 経営への影響について、選択肢から1つを選んでください



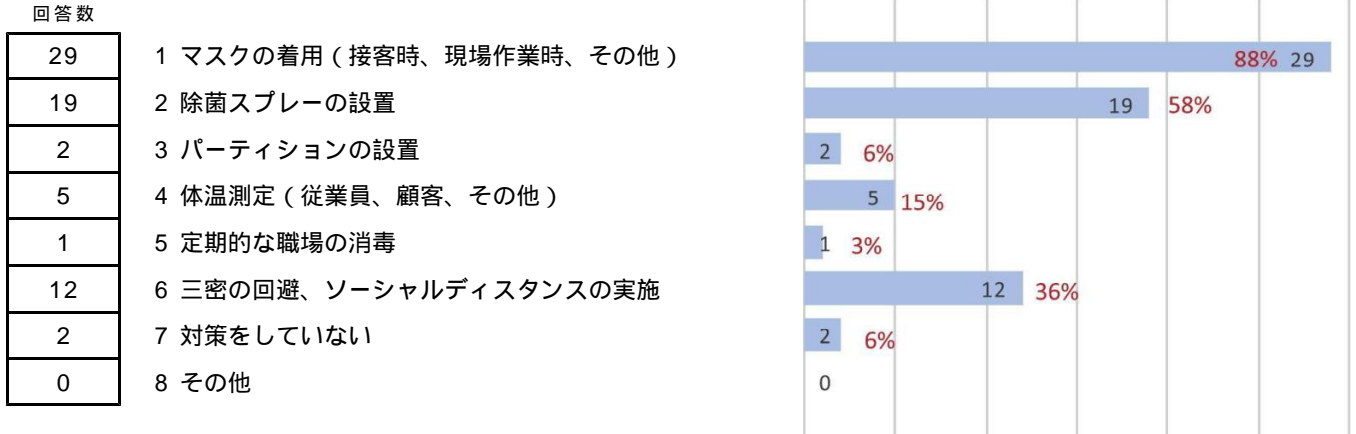
2 設問1で選択肢1or2とご回答の方にお伺いします
具体的なマイナスの影響（今後の懸念を含む）について、お選びください（複数回答可）



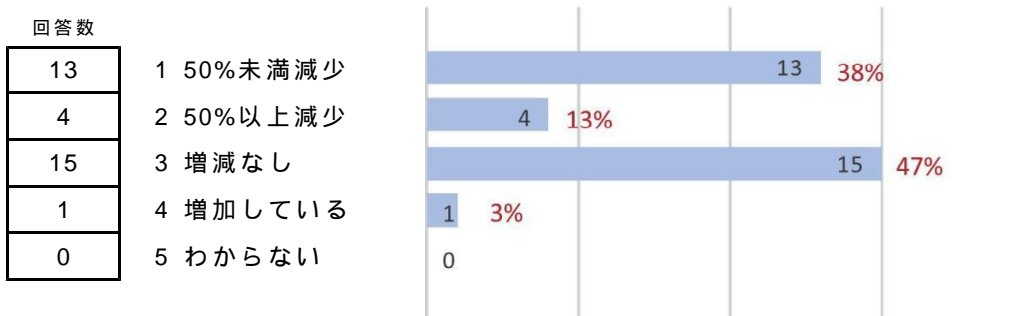
3 設問1で選択肢1or2とご回答の方にお伺いします。
マイナスの影響に対し、実施している（検討している）具体策をお選びください。（複数回答可）



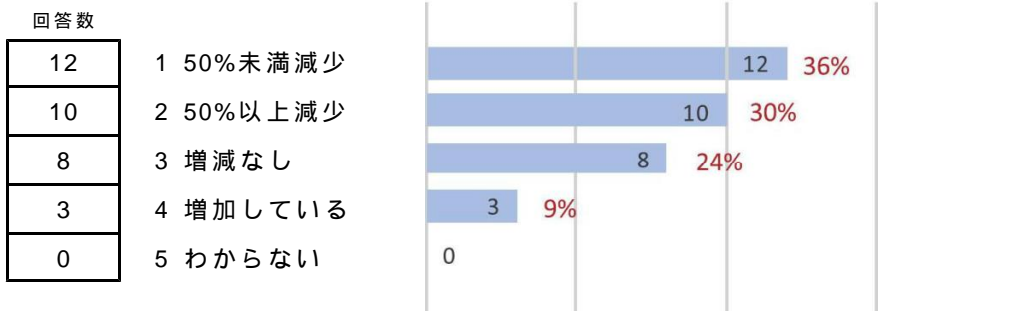
4 貴店での新型コロナウイルス感染症対策として実施しているものをお選びください(複数選択可)



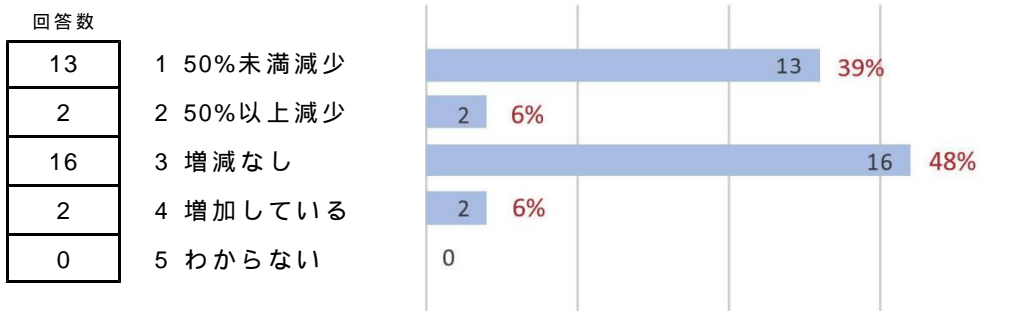
5 令和2年1月~3月の売り上げについて前年同月と比較して、選択肢からお選びください



6 令和2年4月~6月の売り上げについて前年同月と比較して、選択肢からお選びください



7 令和2年7月~9月の売り上げについて前年同月と比較して、選択肢からお選びください



8 令和2年10月~12月の売り上げについて前年同月と比較して、選択肢からお選びください

